



そばをとるのはイエスキリスト

ところがたびをしてた あるサマリアじんは、そばにきてそのひとをみてあわれにおもった。
(ルカ 10・33)



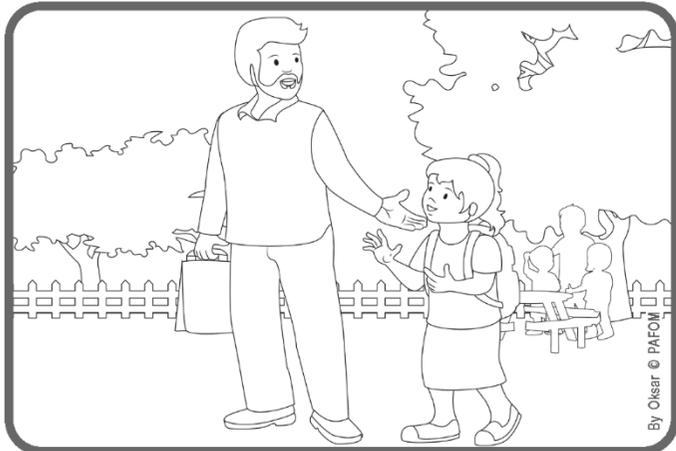
イエスキリストはかみさまひとをあいすることを、さいしよにするたいせつなことだとはなしてはいます！かみさまのいのり、そのこえをきく、そしてであうすべてのひとにちゅういをはらってあなしをきき、たくさんのかげをせつめいし、ときによびよきをなします。



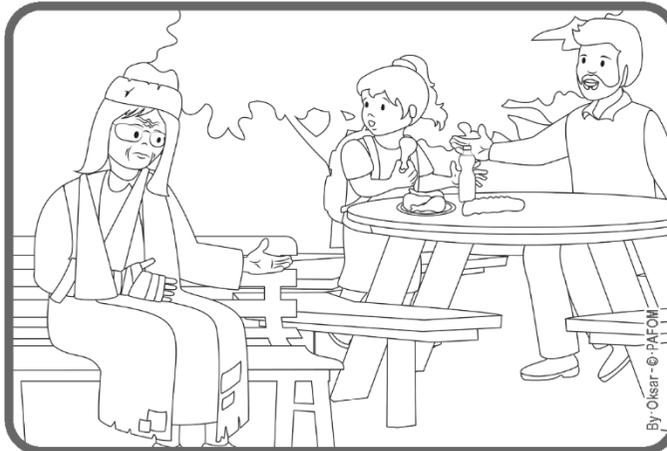
ほかのひとにちゅういをはらうあいは、なにかあたらしいもので みんながわかりません。たびたびおともわからなくなりしつもんします。あるひとひとりかききました。「でも、りんじんってだれですか。」



イエスはよきサマリアじんのたとえをはなします。「りんじんはそばにいるひとです。そのひとにきづかずにとおりすぎますか。あるいはきづいてなにかできることがあるか、かながえてじっこうしますか。」



わたしはクリスティーナです。パパががっこうにむかえにきてくれました。とてもうれしかった。なぜってパパがわたしをこうえんにつれていってくれるのがわかっていたから。とてもおそかったの、いえにかえってごはんをたべるじかんがないので、おとうさんは、とりにくとジュースをもってきてくれた。



わたしはうれしくてすわってたべていた。でもちかくでとてもまずいおんなのひとがみんなにたべものをくださいといっていたけど、だれもとまってあげていなかった。



わたしはそのひとがかわいそうになり、わたしのとりにくとジュースとすこしだけもっていたおかねをあげた。たすけるのがうれしかった。イエスキリストもよろこんでいると、しっていたから。あいそうするとき、とてもうれしくなる！